

向寒の候、冬が駆け足で近づいてまいりました。皆様、風邪をひいたり、喉を傷めたりされていませんか？せわしい時期ですが、お体だけはどうかお大事にお過ごし下さい。

さて、当敷地内で基礎工事が始まりました。完成すれば見えなくなる部分ですが、業者さんによる緻密な計画の下に配置された数名の職人さんが、厳寒の早朝から陽が落ちるまで丁寧に作業して下さっています。有り難いことです。



眠いの・寒いのが発する我が身を恥じて・・・、誇りを持って仕事をする厳しさを目の当たりにする毎日です。



「みんな決めつけてるけど、鬼が悪さするのを実際に見たの？」

鬼は悪者だという安易なネットの噂に流されてしまいそうになります。しかし純朴な桃太郎は、「話をしてみなくちやわからない」と仲間を制し、鬼の子二人に寄り添っています。実は憧れの自衛隊員に会いたくて村へ降りて来ていただけと知り・・・。名演技と、照明係もこなす裏方の子たちにも拍手を送りたくなる、良い文化祭でした。



おおのほらんにわか

桃太郎

十一月十二日(日)は、嬉野市教育の日でした。大野原小中学校の午後の部では、地域・保護者とのふれあいを目的とした、ふるさとの集いとして、中学生のわか「桃太郎」が披露されました。十六名の生徒さん達は、はっぴいかむかむの稲葉さん・森田前校長の指導を受け、感動の舞台を作り上げました。

とはいえ、学業と部活に加えての短期間の練習に不安を抱き、一時は分解の危機もあったそうです。それを乗り越えての晴れ舞台。
今回の経験は、今後彼らの強い味方となってくれることでしょう。
また、劇中では、鬼退治の目的を果たそうとする余り



劇団の本物の衣装を着て



友達を照明で応援します



小1～中3での♪「ふるさとの空よ」

お詫び 先月10月号の一面で、^{しいば}椎葉薬師如来様 と書いてしまいましたが、
正しくは 場所の場で ^{しいば}椎場 でした。大変失礼いたしました。

なお、今号は話題がたくさんあったのですが、機器の故障で印刷が間に合わず、
片面だけの記事で発行させて頂きました。

申し訳ありません。

12月の半ばに発行しますので、お読み頂ければ嬉しいです。

これからもよろしく願いいたします。

轟・大野原コミュニティ

0954-43-3256

文責：谷山佳世